

別府市公共交通活性化協議会 議事録

日 時：平成 31 年 3 月 20 日（14：00～15：00）

場 所：市役所 5 階大会議室

◆意見要旨

開会

事 務 局：16 人の出席により、規約を満たしている。

1 報告

(1) 委員の交代について

（事務局長説明）説明省略

(2) 平成 30 年度地域公共交通確保維持改善事業（地域内フィーダー系統確保維持改善計画）事業評価の書面会議結果について

（事務局長説明）説明省略

(3) 平成 31 年度地域公共交通確保維持改善事業（地域内フィーダー系統確保維持改善計画）の変更に係る書面会議結果について

（事務局長説明）説明省略

（質疑）以下のとおり

会 長：関の江団地線の年間輸送人員目標 1 万 4 千人に対して 2 万 1 千人と大きく伸びている要因は？

事 務 局：平成 29 年度 4 月より循環線としたことで利便性が向上したことが一つ。また市の高齢者福祉の施策としておでかけ回数券等による利用促進が図られた。以上により利用者が増加したと思われる。

会 長：高齢者の移動支援対策として 29 年の秋から始まり、その時期と重なったことも要因の一つということで理解した。また今回、皆さんに協議いただいたことが結果が良い方向に現れた。次に 11 ページの資料では太陽の家を経由する路線がなくなる。

委 員 ①：太陽の家経由は調査の結果、乗降客がない。既存の路線では亀の井交通も運行している。循環系統にしたことで効果があったということもあり、系統をシンプルにした方が分かりやすいということで、全便を循環系統にすることにした。

会 長：利便性について支障ないということで理解した。

2 議題

(1) 別府市地域公共交通再編実施計画について

(事務局説明) 説明省略

(KCS説明) 説明省略

(質議応答) 以下のとおり

会 長：計画の32年度目標は計画を上回っているが、数値目標の見直しについて、どう考えるか。

事務局：網計画に記している目標値を挙げている。事業が順調に進んでいるかの指標であり、見直しは考えていない。特に外国人観光客は先に読みにくい。平成32年度までの網計画ですので、次回の網計画の策定時に目標値についても見直しを考えたい。

会 長：議会でも公共交通に関する質問があった。この再編計画の中で既存の団地でバス路線がないところなどについても課題として盛り込む予定はあるのか。

事務局：議会の中でも一般質問を受けた。また最近、市民の方から公共交通に関する質問や要望を受けるようになったとの話を聞いている。ひとまもりまちまもり懇談会の中でも公共交通に関する意見が多数寄せられている。ひとつは高齢者に対する移動支援、もう一つは中山間地域における公共交通の在り方、さらに市街地における交通空白地帯への対応について意見をもらっている。再編計画、網計画に盛り込んでいくか今後協議させてもらいたい。これまでの需要があったからサービスを提供するという考えから、利便性の向上を図って利用者を増やすという考え方に切り替えて計画を進めていきたい。

会 長：逐次、当協議会においてテーマとして協議していきたい。

委員②：4月から本格運行になった東山地区以外に公共交通が不便な地域については聞いている。タクシー業界で相談しながら対応に取り組ませていただきたい。タクシー業界もやっと公共交通として位置づけられた。バスや鉄道に比べれば日は浅いが、我々にとっては非常にありがたいこと。その使命を積極的に果たしていきたい。昨今の人手不足もあるが、決めた以上のことは我々もきちんと責任を果たして住民の皆さんにもよろこんでもらいたいので、事前の相談には対応したい。今、タクシー業界は料金改定を進めている。初乗り運賃を下げる方向にある。市内のスポット的な使い方、バス停までの足として今まで以上に使ってもらえるきっかけになるかもしれない。

会 長：東山地区において公共交通機関としての役割を果たしていただいている。今後も他の地区においてもご協力をよろしくお願ひしたい。

(協議結果) 原案のとおり承認

3 その他

委員②：バスロケーションシステムについて。
(説明省略)

閉会